

令和3年度使用中学校用教科書

選定資料

外国語（英語）編

令和2年6月

愛知県教育委員会

外国語（英語）

教科書選定の基本的な考え方

○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

教科書選定作成の観点・着眼点（外国語＜英語＞）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容 等	(1) 内容の選択 ア 実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語材料及び題材の選択は適切か。 イ 外国の人々及び日本人の日常生活・風俗習慣・文化・ものの見方・考え方等に関するものを含めて、国際理解に役立つ題材が適切に取り上げられているか。 ウ 学びに向かう力を高めるよう配慮されているか。
	(2) 内容の程度 ア 目指す資質・能力の育成を見通して、生徒の発達段階に合わせて、平易な表現から難しい表現へと段階的に高める工夫がされているか。 イ 外国や日本の生活の文化及び習慣について理解を深めるとともに、言語や文化への関心を高めるよう工夫されているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。
	(3) 内容の構成 ア 教材が系統的・発展的に組み立てられ、その配列や関連付けが適切であるか。 イ 聞くこと・読むこと・話すこと [やりとり]・話すこと [発表]・書くことの5領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力が育成されるよう工夫されているか。 ウ 思考力・判断力・表現力を働かせて言語材料を使う場面が繰り返し設定されているか。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	ア 音声・符号等の学習に配慮がされているか。 イ 学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。 ウ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等が、適切に関連付けられているか。 エ 目次・索引・注・凡例・諸表・資料が、必要に応じて用意されているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 目的・場面・状況を意識した活動を豊富に取り入れ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できるよう編集されている。 ア 豊富な言語材料をもとに、対話的な活動や問題解決にあたる活動を通して、自分の考えや簡単な情報を伝える力を養うことができるよう編集されている。
9 開 隆 堂	ア 目的と相手を意識した言語活動を数多く取り入れ、自分の言葉として英語を使おうとする態度を育成できるよう編集されている。 ア 発達段階に合わせた自己表現活動が取り入れられ、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう編集されている。
15 三 省 堂	ア 学んだ言語材料を統合して使う活動を配置し、学ぶことを楽しむ心と主体的・協働的に学ぼうとする態度を育成できるよう編集されている。 ア 現実の使用場面を想定した言語活動や自己表現活動が取り入れられており、自分の考えや気持ち等を伝え合う力を養うことができるよう編集されている。
17 教 出	ア 言語や文化についての幅広い知識と教養を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できるよう編集されている。 ア 5領域別に目標や題材が設定されており、段階的にコミュニケーションを図る資質や能力を育成することができるよう編集されている。
38 光 村	ア 5領域をバランスよく身に付けることができ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができるよう編集されている。 ア 言語能力と発達段階に応じて、幅広い知識と教養を身に付け、気持ちや考えを伝え合う力を養うことができるよう編集されている。
61 啓 林 館	ア 知的好奇心に応える題材が選定され、自身の問題として主体的に学習しようとする態度を育成できるよう編集されている。 ア 基礎的な知識・技能が身に付く段階的な学習過程を取り入れ、コミュニケーションを図る資質や能力が身に付けられるよう編集されている。

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 世界の様々な問題等心情に訴える道徳性のある題材を取り上げ、生命・人権の尊重や思いやりの心が育つよう配慮されている。 ア 自国の伝統文化を尊重するとともに、海外の生活や文化の理解を深め、互いを尊重する心を育むよう工夫されている。
9 開 隆 堂	ア 身近な生活に関わることから歴史的な出来事や問題について考え、主体的に社会に参画する態度を養うよう配慮されている。 ア 人権問題や環境問題などの社会的な問題を題材として学習することで、広い視野と豊かな感性をもち、国際社会で活躍できる人材を育成するよう配慮されている。
15 三 省 堂	ア 人権問題や環境問題など、多様な題材を通して、言語や文化への関心を高めるとともに、豊かな心を養うことができるように編集されている。 ア 個人の能力や将来性を伸ばし、将来の生活に結び付けていく題材を取り上げ、自らの力を社会に生かすことができる人材を育成するよう配慮されている。
17 教 出	ア 様々な題材を取り上げて、道徳心を養うとともに、公共精神に基づきながら主体的に社会参画し、その発展に寄与する態度を養うよう工夫されている。 ア 様々な場で活躍する人を通して、働くことの意義について触れ、職業と生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うよう配慮されている。
38 光 村	ア 登場人物がもつ将来の夢や職業観を通して、個人の価値を尊重し、自分の将来の夢や生き方について深く考える機会となるよう工夫されている。 ア 環境問題について考える教材を通して、自他の生命を尊び、環境保全のために主体的に何ができるかを考える態度を養うように配慮されている。
61 啓 林 館	ア 身近な動物や世界の様々な動物について保護したり共存を考えたりする活動等を通して、あらゆる生命を大切にすることを養うように配慮されている。 ア 日本の伝統文化や外国との文化の違いを知ることを通して、他国を尊重し、異文化理解を深めることができるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (1) 内容の選択	ア 実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語材料及び題材の選択は適切か。 イ 外国の人々及び日本人の日常生活・風俗習慣・文化・ものの見方・考え方等に関するものを含めて、国際理解に役立つ題材が適切に取り上げられているか。 ウ 学びに向かう力を高めるよう配慮されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 「Let's シリーズ」では、道案内・電話でのやりとり、機内放送やニュース等場面や状況に即した題材が発達段階に合わせて適切に選択されている。 イ 多様な国を取り上げ、国際社会に目を向けることで、新たな視点から日本の伝統や文化のよさを考えることができるような題材が取り上げられている。 ウ 「学び方コーナー」では、主体的な学びを促す内容が示されており、それを生かして自己表現活動を行うことができるよう工夫されている。
9 開 隆 堂	ア 「Power-Up」では、店員との会話や道案内、メール、電話、空港アナウンス等、実生活で役に立つ場面でのやりとりや言語材料が適切に選択されている。 イ 環境、平和、人権、共生等の現代的課題をより探求し、多様な物の見方を養い、他国を尊重する人間性を育むことができる題材が取り上げられている。 ウ 「Interact」では、学んだ表現を使ってペアやグループでのやりとりを通して自己表現する活動が設定されており、学習意欲が高まるよう工夫されている。
15 三 省 堂	ア 「Take Action!」では、現実の使用場面に近い音声を聞く題材や、自分の考えや気持ち等を即興で伝え合う言語材料が適切に選択されている。 イ 日本だけでなく他国の文化、自然科学や環境等のテーマを基に、社会の多様性を理解し関わっていく力を育成できる題材が取り上げられている。 ウ 「Project」では、既習事項をまとめる形で5領域の統合型の活動を設定し、「For Self-study」では自律的な学習を促すように工夫されている。

17 教 出	<p>ア 「Useful Expressions」では、買い物や食事、観光案内等、日常生活や特定の場面でよく使われる表現を身に付けさせるための言語材料が適切に選択されている。</p> <p>イ 日本や外国の文化、人権問題や環境問題などを扱うことで、他国を尊重し、幅広い知識と教養を身に付けることができる題材が取り上げられている。</p> <p>ウ 「Project」では、5領域を統合的に活用して課題解決に取り組み、「Activities Plus」では、主体的に英語を使うことができるよう工夫されている。</p>
38 光 村	<p>ア 「Daily Life」では、国際郵便やウェブの画面、体調不良を伝えるやりとり等、日常生活の中で実際に使える言語材料が適切に選択されている。</p> <p>イ 身近な話題から社会的・時事的な話題まで幅広いテーマを扱うことで、グローバルな見方や考え方を育むことができる題材が選定されている。</p> <p>ウ 「英語の学び方ガイド」と「Your Coach」では、各技能別に学び方を紹介し、発達段階に合わせた自主的・自律的な学習を促すよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 「Let's Talk」では、買い物や道案内、電話等の身近な場面を取り上げ、必要な情報を伝え合えるような言語材料が適切に選択されている。</p> <p>イ 外国の様々な生活や文化、福祉等、自分の国との違いや共通点等に気付かせ、国際理解や異文化理解が深まる題材が取り上げられている。</p> <p>ウ 「Project」では、5領域を統合した自己表現活動が設定され、ペアやグループワークなどの協働学習を促し、学習意欲を高めるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	<p>ア 目指す資質・能力の育成を見通して、生徒の発達段階に合わせて、平易な表現から難しい表現へと段階的に高める工夫がされているか。</p> <p>イ 外国や日本の生活の文化及び習慣について理解を深めるとともに、言語や文化への関心を高めるよう工夫されているか。</p> <p>ウ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 小学校外国語を用いた基本的表現から、将来の夢や自分の意見を述べるスピーチ、ディベート等へと、表現を段階的に高めるよう工夫されている。</p> <p>イ 落語や俳句等の日本文化や、様々な国の街の様子や文化を取り上げ、言語や文化への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Grammar for Communication」で文法事項の定着を図り、三つの「Activity」を通して、既習の言語材料を活用する発展的な学習が適切に設定されている。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 小学校外国語の学習内容を活用した自己紹介から、自分が選んだ写真のスピーチ、ディスカッション等、表現が段階的に高まるよう工夫されている。</p> <p>イ 書道やかかるた等の日本の伝統文化や、様々な国の異文化を理解する題材を取り上げ、言語や文化への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「英語のしくみ」で習得すべき基礎的な事項を確認し、「Our Project」等で自己表現活動につなげる発展的な学習が適切に設定されている。</p>
15 三 省 堂	<p>ア 小学校外国語の学習内容を活用した自己紹介から、スピーチ、ディスカッションへと、表現が段階的に高まるよう工夫されている。</p> <p>イ 外国の文化や伝統、学校生活だけでなく、国内外にある日本文化についても取り上げ、言語や文化への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 学んだ文法事項を「文法のまとめ」で振り返り、「Project」でさらに学習を深める発展的な学習が適切に設定されている。</p>

<p>17 教 出</p>	<p>ア 小学校外国語との接続を意識し、学校生活や日常生活での会話から発表、ディベートへと、表現や内容が段階的に高まるよう工夫されている。</p> <p>イ カナダでの生活や日本の落語等、世界への視野を広げたり、日本の文化・伝統を見つめ直したりする題材があり、言語や文化への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Grammar」で文構造・文法事項を確認し、「Project」で、習得した内容を活用する発展的な学習が適切に設定されている。</p>
<p>38 光 村</p>	<p>ア 小学校外国語との接続を意識し、自分のことや相手のこと、学校に必要なものについて伝え合う活動へと、表現が段階的に高まるよう工夫されている。</p> <p>イ 世界遺産めぐりや世界の絶滅危惧種を取り上げたり、日本の伝統文化を紹介したりするなど、言語や文化への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Active Grammar」で習得事項を確認しながら、「You Can Do It!」で表現活動につながる発展的な学習が適切に設定されている。</p>
<p>61 啓 林 館</p>	<p>ア 小学校外国語との接続を意識し、学校生活での会話や将来の夢の発表から制服の必要性のディスカッションへと、表現が段階的に高まるよう工夫されている。</p> <p>イ 日本のマンガ文化や各地の祭り等の日本文化や、様々な国で働く人々や世界の食文化を取り上げ、言語や文化への関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「Target のまとめ」で既習事項を確認しながら、「Project」等での表現活動につながる発展的な学習が適切に設定されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	<p>ア 教材が系統的・発展的に組み立てられ、その配列や関連付けが適切であるか。</p> <p>イ 聞くこと・読むこと・話すこと [やりとり]・話すこと [発表]・書くことの5領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力が育成されるよう工夫されているか。</p> <p>ウ 思考力・判断力・表現力を働かせて言語材料を使う場面が繰り返し設定されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 平易な会話表現から段階的にリーディングの語数を増やすなど、系統的・発展的に教材が配列され、円滑に学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>イ 「Stage Activity」等の言語活動を効果的に配列し、総合的なコミュニケーション活動が段階的に展開できるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各課、「Let's シリーズ」、「Stage Activity」で知識・技能の習得と活用を繰り返しながら思考力・判断力・表現力が高まるよう設定されている。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 小学校外国語の活動に留意し、教材を3年間見通して系統的・発展的に配列して、コミュニケーションを図る資質・能力が育成されるように工夫されている。</p> <p>イ 各課は4段階の構成となっており、5領域を総合的に扱うコミュニケーション活動ができるように段階的に設定されている。</p> <p>ウ 「Our Project」では、各課で学習した言語材料を活用して、思考力・判断力・表現力を働かせて自己表現する場面が繰り返し設定されている。</p>
15 三 省 堂	<p>ア 各学年の学びを振り返りながら円滑に学習を積み上げ、さらに3年間で系統的・発展的に自律的な学習ができるような教材配列がされている。</p> <p>イ 各課では、言語材料の定着から、それらを使った表現活動が段階的に配置され、5領域のバランスがとれた活動が設定されている。</p> <p>ウ 「USE」「Take Action!」「Project」を柱として、思考力・判断力・表現力を働かせて言語材料を使う場面が繰り返し設定されている。</p>

<p>17 教 出</p>	<p>ア 小学校外国語との接続に配慮しながら、実用的な英語力を身に付けることができるように、教材が系統的・発展的に配列されている。</p> <p>イ 5領域の技能を高める「Tips」や、学習した知識や表現を活かし、5領域を総合的に活用して課題解決に取り組む「Project」が設定されている。</p> <p>ウ 「Project」では、思考・判断に加え、他者と問題を解決する活動を繰り返し行うことによって、思考力・判断力・表現力を働かせる工夫がされている。</p>
<p>38 光 村</p>	<p>ア 小学校外国語との接続を意識し、学習段階に応じて教材が系統的・発展的に配列され、コミュニケーションを図る資質・能力が身に付くように工夫されている。</p> <p>イ 「Goal」では、様々な題材による自己表現活動を通して、5領域を統合した言語活動が展開できるように配慮されている。</p> <p>ウ 「Let's Talk!」では、即興でコミュニケーションする活動を繰り返し行うことによって、思考力・判断力・表現力を働かせる工夫がされている。</p>
<p>61 啓 林 館</p>	<p>ア 小学校外国語との接続を意識しながら、英語で伝える発信力を目指して、段階的に学習できるように配慮され、教材が系統的・発展的に配列されている。</p> <p>イ 「Project」等では、既習の知識を使った表現活動を通して、5領域のバランスのとれた総合的な活動ができるように配慮されている。</p> <p>ウ 「Use」「Project」等で、複数技能を統合した言語活動を繰り返し行うことによって、思考力・判断力・表現力を働かせる工夫がされている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 音声・符号等の学習に配慮がされているか。</p> <p>イ 学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。</p> <p>ウ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等が、適切に関連付けられているか。</p> <p>エ 目次・索引・注・凡例・諸表・資料が、必要に応じて用意されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 「学び方コーナー」に単語のつづりと発音や音読の仕方等を示し、日本語との文字や発音の違いを意識しながら理解できるように配慮がされている。</p> <p>イ イラストや写真を活用して学習意欲を高めたり、理解を助けたりする等、学びに向かう力を高める工夫がされている。</p> <p>ウ 「Preview」では、文法項目を使う目的・場面・状況を想像できるイラストが使用されており、本文と適切に関連付けられている。</p> <p>エ 巻末「Word Room」には、興味・関心に広く合わせて、イラスト付きの単語集が項目ごとに用意されている。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 「つづり字と発音」で、英語の文字と音の関係について示されており、小学校や各学年での既習事項を確認できるよう配慮がされている。</p> <p>イ 導入に生徒の興味を引く写真を示したり、文法説明を句や文ごとに色を使い分けたりして、学びに向かう力を高める工夫がされている。</p> <p>ウ 新出表現の導入では2コマのマンガ形式で示されており、イラストや音声を頼りに内容を推測できるよう工夫されている。</p> <p>エ 「Try」のコーナーでは、即興的に話す活動として既習表現を使う機会が設けられ、巻末に一目で分かる表現例も用意されている。</p>
15 三 省 堂	<p>ア 巻末付録に3年は符号のまとめ、1・2年はつづりと音の関係を意識させる活動が示されており、学習の手助けとなるよう配慮されている。</p> <p>イ 「文法のまとめ」では、文法や日本語との違い、英語の発想の仕方などをイラストや図を用いて解説し、学びに向かう力を高める工夫がされている。</p> <p>ウ 本文の場面設定を補足する挿絵や写真が効果的に配置される等、内容理解に役立つよう配慮されている。</p> <p>エ 巻末の付録には、「つづりと発音」「基本文のまとめ」「いろいろな単語」等、自律的な学習に必要な資料が用意されている。</p>

<p>17 教 出</p>	<p>ア 1年「Springboard 3」や各学年巻末付録「つづりと発音」では、発音やつづりに関する学習ができるよう配慮がされている。</p> <p>イ 巻末のカードを使って、ゲーム感覚で楽しく発話活動に取り組んだり、マスキングシートを活用したりして、学びに向かう力が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各課の導入の写真や物語の挿絵、活動場面のイラスト等興味を高め、理解を促進する等工夫されている。</p> <p>エ 巻末の「Activities Plus」に、1年を通して学んだ文や表現できるゲームや、主体的に英語を使って会話できる資料が用意されている。</p>
<p>38 光 村</p>	<p>ア 各課の「英語らしく発音するポイント」では、語句の発音や強弱、イントネーション、区切りが理解できるよう配慮されている。</p> <p>イ 巻頭には1年間を通して学習することが分かる「本書の構成」が、巻末には目標が分かる「CAN-DO List」があり、学びに向かう力を高める工夫がされている。</p> <p>ウ 「Story Retelling」では発話の場面を再現しやすくするため、追加のイラストが掲載される等の工夫がされている。</p> <p>エ 巻末の「Active Words」では、語彙がイラストとともにカテゴリ別でまとめられており、適宜参照することができる資料が用意されている。</p>
<p>61 啓 林 館</p>	<p>ア 「音読のポイント」では、発音の注意点やポイントが示されており、話すときや聞き取るときの参考になるように配慮がされている。</p> <p>イ 導入や「More Information」では、各課の学習内容を補足する様々なテーマの情報が多数掲載してあり、学びに向かう力を高める工夫がされている。</p> <p>ウ 各課の導入のページにその課で扱う内容に関する写真が多数掲載されており、本文記述に適切に関連付けられている。</p> <p>エ 「Tool Box」では、表現活動で使用する語句を見開きで参照しやすく、生徒が自分の言葉で表現する手助けとなる資料が用意されている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	<p>ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。</p> <p>イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。</p> <p>ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 見やすく、読み取りやすい書体を使用し、本文や新出単語、基本文などのデザインや配置、色彩等が統一されており、適切である。</p> <p>イ 各課、「Let's シリーズ」、「Stage Activity」の三つの単元が規則的に構成され、学習のユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ 紙面が大きくて見やすく、ページが大きく開いて使いやすく、軽量であるが堅ろうな造りである。</p>
9 開 隆 堂	<p>ア 印刷も鮮明で、イラストと写真、本文がバランスよく配置されており、見やすい紙面となっている。</p> <p>イ 色使いを抑え、文字が大きく、また手書きに近い見やすい文字を発達段階に応じて使用している。</p> <p>ウ 巻末資料の「Try のまとめ」は、参照しやすい折り込み式の体裁で、堅ろうな造りである。</p>
15 三 省 堂	<p>ア 小学校外国語との接続を意識した手書きフォントを使用したり、色の濃淡を工夫したりして、見やすい紙面となっている。</p> <p>イ 形や記号、番号、説明文等、補助的な手掛かりが設けられており、教材の配列が分かりやすく統一されているなど、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ 見開き構成を主体とし、学習する内容が分かりやすくなるよう工夫がされており、堅ろうな造りである。</p>

<p>17 教 出</p>	<p>ア 日本語も英語も見やすい文字を使用し、写真やイラストも鮮明であり、見やすい紙面となるよう工夫されている。</p> <p>イ アイコンやイラストも分かりやすく工夫され、全体を通して統一感のある構成となっており、見やすく、読みやすい配慮がされている。</p> <p>ウ 余白が効果的に配置され、各活動が分かりやすくなるよう工夫されており、堅ろうな造りである。</p>
<p>38 光 村</p>	<p>ア 発達段階や教材、活動内容に応じた書体や文字の大きさを使用している。色覚特性にも配慮し、落ち着いた色使いになっている。</p> <p>イ レイアウトを統一したり、漢字に振り仮名を付けたりするなど、ユニバーサルデザインの観点から配慮された編集となっている。</p> <p>ウ 横幅の広い版を採用することにより横組の文字が見やすくなっており、堅ろうな造りである。</p>
<p>61 啓 林 館</p>	<p>ア 視認性、可読性の高い書体を使用し、温かみのある優しい色使いで、視覚や色覚に配慮されている。</p> <p>イ シンプルなイラストを使用したり、読みやすいように文節の改行を工夫したりしており、ユニバーサルデザイン化が図られている。</p> <p>ウ 行間にゆとりがあり読みやすく、ページが大きく開くように製本されており、堅ろうな造りである。</p>

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
2 東書	東京書籍株式会社	NEW HORIZON English Course 1、2、3
9 開隆堂	開隆堂出版株式会社	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1、2、3
15 三省堂	株式会社 三省堂	NEW CROWN English Series 1、2、3
17 教出	教育出版株式会社	ONE WORLD English Course 1、2、3
38 光村	光村図書出版株式会社	Here We Go! ENGLISH COURSE 1、2、3
61 啓林館	株式会社 新興出版社啓林館	BLUE SKY English Course 1、2、3